

国語科学習指導案

5年教室

<授業改善の視点>

グループで考えを交流する際に、話し合いの目的を伝えたり、友達の考えをプリントに書き込むなどの具体的な指示を出したりしたことは、大造じいさんの心情について叙述を基に想像したことを、さらに広げたり深めたりすることに有効であったか。

I 単元名 立場をかえて書き換えよう 「大造じいさんとがん」

II 考察

1 学習指導要領上の位置づけ

本単元は、「(イ) 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること」「(エ) 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること」「(オ) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること」をねらいとしている。

2 単元及び教材の価値

本教材は、大造じいさんと残雪の三年間にわたる戦いの様子を描いた物語である。本教材には「青くすんだ空」や「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来た。」のような、大造じいさんの心情が想像できる情景描写や、「会心のえみをもらった。」といった心情を表す表現など、暗示性の高い表現や優れた叙述が数多く見られる。また、「たかが鳥」「残雪め」「がんのえいゆう」などの呼称の変化からも、大造じいさんの心情の変化がうかがえる。これらの表現に着目して作品を読むことで、様々な表現に触れてその効果を考えたり、描写を基に登場人物の相互関係や心情を捉えたりする力の習得がねらえる教材である。

また、命がけで仲間を救おうとする勇気と友情にあふれた残雪の姿には、人間のリーダーとしてのあるべき姿が投影されていると考えられる。小学校の最上級生としての生活を間近に控えた子供たちに、その心構えを、一羽の鳥の姿を通して伝えることについても価値ある教材である。

3 校内研修との関連

本単元では、優れた表現の仕方に着目して想像を豊かにしながら作品を読み、読み取った内容を基に大造じいさんの立場で物語を書き書き換える。また、読み取ったことなどについて話し合う活動を設定して、友達と考えを交流し合うことで、自分とは違った様々な考えに触れ、自己の考えを広げたり深めたりしていく。このような課題設定や学習活動の工夫が、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実」につながると考えられる。

4 児童の実態及び指導方針（男子 名、女子 名、計 名）

児童は、5年「いつか、大切なところ」の学習において、登場人物の心情の移り変わりを想像して作品を読み、物語の続きを想像して書く学習をしてきた。この学習の中で明らかになった児童の実態、及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ・登場人物の心情を暗示的に表現する情景描写があることを知り、それらを見つけることができるようになってきている。このような児童が、叙述や情景描写を基に登場人物の行動や心情を捉えることができるよう、叙述から与えられる印象や、情景描写が表現している大造じいさんの心情について考え、友達との交流を通して考えを深めたり広げたりする活動を設定する。
- ・場面ごとに登場人物の心情をまとめる学習を通して、心情が移り変わっていく様子を想像しながら作品を読むことができるようになってきている。このような児童が、登場人物の心情の変化をより深く捉えることができるように、情景や呼称の変化に着目して読み進めていく。
- ・意味を理解して使いこなせる語句の量が全体的に少ない。このような児童が、語彙を豊かにすることができるよう、作品中に現れる多くの優れた表現に着目し、その意味を考えたり、実際に使ったりする活動を設定する。

III 単元の目標及び評価規準（別紙単元構想参照）

IV 本時の学習（全8時間 本時は5／8時間）

1 **ねらい** 登場人物の行動や心情を表す表現に着目して、大造じいさんが残雪に対して抱いた気持ちを想像する活動を通して、登場人物の相互関係や心情などについて、叙述を基に想像することができる。

2 **準備** 拡大した本文（P.101,L.11～P.103,L.10）、ワークシート

3 展開

過程	学習活動と子供の意識	時	指導上の留意点 ●つまづきが想定される児童への支援
課題設定	<p>1 3の場面までの物語の内容を確認して本時のめあてをつかむ。（問いをもつ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なぜ「ただの鳥に対してしているような気がしなかった」のか考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・強く心を打たれたから。 ・頭領としての威厳を傷つけまいとしていたから ・おとりのがンを助けてくれたから。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートやワークシートの記述をふり返るよう伝えて、残雪を捕らえるための3つの作戦や、大造じいさんの心情の変化を思い出せるようにする。 ○各場面の最後の一文に着目させ、大造じいさんの心情の変化を思い出すとともに、本時のめあてへとつなげる。
課題解決のための活動	<p>2 残雪が「ただの鳥」ではないことがわかる表現を探し、それに対する大造じいさんの気持ちを想像する。（自力解決）（集団解決）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いきなり、敵にぶつかっていった」 →勇気があるなあ。 ・「むねのあたりをくれないにそめて」 →仲間のために犠牲になるなんて、すごい。 ・「残りの力をふりしぼって…」 →弱っている姿を見せないようにしている。 ・「じいさんを正面からにらみつけた」 →死ぬ直前でも、堂々としているな。 ・「じたばたさわがなかった」 →普通の鳥なら暴れるだろうに、残雪は堂々としているな。 	20分	<ul style="list-style-type: none"> ○残雪とはやぶさの戦いの場面（教科書101ページ11行目～103ページ10行目）を音読（グループ読み）して内容を確認してから活動に取り組めるようにする。 ○表現を探す際には、なるべく短い言葉で見つけるように助言する。 ○個人でワークシートに記入した後、グループで考えを共有し、多くの考えに触れられるようにする。 ●なかなか書き込めない児童のために、ワークシートに記述例を載せておく。 ○グループでの交流の目的が「自分とは違う考え方や、納得できる意見をぬすむ」であることを伝える。 ○グループでの交流が、考えを広げたり深めたりすることにつながるように、友達の意見を自分のワークシートに書き込むよう伝える。
	<p>3 大造じいさんが「強く心を打たれた」のは、残雪のどの姿に対してなのか読み取る。（集団解決）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大けがをしてぐったりとしている姿。 ・残りの力をふりしぼっている姿。 ・頭領らしい、堂々とした姿。 ・最期の時を感じた残雪の姿。 ・最後まで、努力している姿。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○「強く心を打たれる」の意味をおさえる。 ●大造じいさんが「強く心を打たれた」場面の残雪の様子や行動に着目するよう伝える。 ●残雪がどのような状態だったか、どんな行動をとったか、それに対して大造じいさんはどう思ったか、の3点に着目するよう促し、本時の課題解決につながるようにする。

ま と め ・ ふ り 返 り	4 本時のまとめ・ふり返りを書く。 (まとめ) (ふり返り)	10 分	<p>○ふり返りの観点「わ・が・友」で本時の学習をふり返るよう伝える。</p> <p>○残雪の姿に感動した大造じいさんの心情を捉えられたことで、物語の山場を大造じいさんの視点で書きかえるという単元の課題の解決に近付いていることに気付かせ、称賛する。</p>
	<p>・大けがをして死ぬ寸前にもかかわらず、最後の力をふりしぼって頭領としての威厳を傷つけまいと努力する残雪の姿に、強く感動したから、ただの鳥に対してのような気がしなかった。</p>		

評価項目	評価方法・観点
○叙述を基に、最後の時を感じながらも、がんの頭領としての威厳を傷つけまいと努力する残雪の立派な態度が、大造じいさんを強く感動させたことを捉えている。	<p>評価方法：発言、記述</p> <p>観点：思考・判断・表現</p>

4 板書計画

<p style="text-align: center;">ま</p> <p>大けがをして死ぬ寸前にも関わらず、最後の力をふりしぼって頭領としてのいげんを傷つけまいとする残雪の姿に強く感動したから、ただの鳥に対しての気がしなかった。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>拡大した本文 (P.101,L.11～P.103,L.10)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>強く心を打たれる</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>叙述から想像した 大造じいさんの心情</p> </div>	<p style="text-align: center;">予想</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>め なぜ「ただの鳥に対しての気がしなかった」のか考えよう。</p> </div> <p style="text-align: right; font-size: 1.2em; margin-top: 10px;">10 / 15 大造じいさんとがん</p>
---	---	--

<単元構想>

教科	国語	単元名	立場をかえて書き換えよう「大造じいさんとがん」	5 学年	9月～10月	全8時間計画
目標	優れた叙述や暗示的な情景描写に着目して作品を読み、大造じいさんの心情の変化を読み取ったり、大造じいさんの立場になって物語を書き換えたりすることができる。					
評価 規準	<p>●【知識・技能】 作品の中で用いられている表現の美しさを感じ取り、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。</p> <p>●【思考・判断・表現】 登場人物の行動や心情を表す叙述に着目して物語を読み、大造じいさんの立場で物語を書き換えたりすることができる。</p> <p>●【主体的に学習に取り組む態度】 叙述を基に想像した登場人物の心情や、作品や登場人物、作者に對する思いや考えを伝えたりしようとしている。</p>					
系統	4年「一つの花」において、人物の思いを想像して読み、感想を友達に伝える学習をしてきた。ここでの学習は、5年「雪わたり」での表現の工夫や登場人物の性格を考えて読むこと、6年「川とノリオ」での優れた表現を味わいながら登場人物の心情を読むことなどの学習へと発展していく。					
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目	＜評価方法・観点＞	
つかむ	1	○題名から物語の内容を想像する。 ○単元のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。	○それぞれの児童の考えを板書で整理し、次時からの読みの学習への期待をもたせる。	○題名から物語の内容を想像し、自分の考えを伝えようとしている。	＜発言、記述・主＞	
追究する	3	○全文を読み通し、あらすじを捉える。 ○大造じいさんが残雪を捕らえるためにとった方法と、その時の心情をまとめる。	○語や語句の意味を正しく理解して作品の内容を捉えられるよう、必要に応じて辞書を使うよう指導する。 ○大造じいさんの心情の変化に気付けるよう、残雪のことをいまいましく思っていた時の心情、感嘆の声をもらってしまった時の心情、うなづいてしまった時の心情を比較させる。	○作品の中で用いられている語や語句の意味を調べて、語感や言葉の使い方に気をつけて使っている。 ○叙述や情景描写を基に、大造じいさんが興奮、緊張、落胆する様子や、残雪に對する思いが変化していく様子を捉えている。	＜発言、記述・知、技＞	
	1 (本時)	○大造じいさんが残雪に對して「ただの鳥に對しているような気がしなかった」理由を考える。	○残雪が「ただの鳥」ではないことがわかる表現を探し、それに對する大造じいさんの気持ちを想像する。 ○大造じいさんが「強く心を打たれた」のは、残雪のどの察に對してなのか考えさせる。	○叙述を基に、最期の時を感じながらも、がんの頭領としての威厳を傷つけまいと努力する残雪の立派な態度が、大造じいさんを強く感動させたことを捉えている。 <発言、記述・思、判、表>	＜発言、記述・思、判、表>	
	1	○春になって飛び去って行く残雪に對して、大造じいさんがどんな思いを抱いていたか考える。	○直前の情景描写や大造じいさんの言葉に着目させ、情景描写が表現している大造じいさんの心情や、残雪に對する呼称が「えいゆう」「えらぶつ」と変化した理由を考えるよう助言する。	○叙述や情景描写を基に、大造じいさんが残雪に對して、対等に戦う相手として敬意を表していることを捉えている。	＜発言、記述・思、判、表>	
まとめ	1	○自分が「山場」だと考えたところを、大造じいさんの立場で書き換える。	○物語の「山場」だと思ふ場面を決める際には、107ページの「ここが大事」を参考に、そう考えた根拠をはっきりさせる。	○大造じいさんの心情を考えながら、大造じいさんの立場で物語の「山場」を書き換えている。	＜記述・思、判、表>	
	1	○作品や登場人物の魅力について考え、登場人物の生き方から学んだことや、作者が伝えたかったことを、これからの自分にどう生かしていくか書きままとめる。	○大造じいさん、残雪、作者それぞれの魅力を考えさせる。 ○「感動した」「いい話だった」で終わらずに、作品がそれぞれの児童の中で生き続けるように、作品から学んだことや作者からのメッセージを考えられる活動を設定する。	○読み取ったことを基に作品の魅力について考え、作品をこれからの自分にどう生かしていくか、自分の思いや考えを伝えようとしている。	＜発言、記述・主＞	